

第2回(8/11) 「地域に活かす避難所ルール① ～被災の実態と対策の現状について～」

内容:初回の体験を踏まえて、男女共同参画の視点での防災対策、避難所運営や被災者支援について改めてまとめた後、マニュアル作成について必要な基礎知識を学習。その後、三重県総合文化センターを避難所として活用するイメージで、グループに分かれて施設見学を実施した。

① スケジュール

- 13:30～ 全体説明、参加者のみなさんによる自己紹介(20分)
- 13:50～ 男女や立場によって異なる被災経験と求められる被災者支援(50分)
- 14:40～ 休憩(10分)
- 14:50～ 避難所運営マニュアルとは?その意義と求められる内容・活用(40分)
- 15:30～ 「そうぶんって」どんな所? (施設見学と間取り図の共有、機能説明など)(50分)
- 16:20～ 質疑・宿題説明(10分)
- 16:30 終了

3回目までの宿題 =「あなたの地域の防災資源を書きだそう!」 ※④資料参照

② 参加者数

参加者数/37名 男性参加率/51.8%

③ アンケート結果

回答数/31名(回収率 83.8%)

満足度/77.4%(4段階評価の第1位集計割合/第2位まで:100.0%)

意見抜粋

- ・今まで学んできたことから更に考えさせられた
- ・時間的に気ぜわしかった
- ・意見発表や質問タイムがあるとよかった
- ・講義もわかりやすく今後の参考になります
- ・総合文化センターは広いので、避難所として運営管理するのは大変であると感じました
- ・施設見学の時間がもう少しあるとよかった。日常、目にすることができない部分(地下搬入路など)を見ることができたのはよかった
- ・1日目から参加したので自分なりの疑問を解決できるかと考えながら聞くことができました
- ・ジェンダーなどにも視点をおいて勉強できました。避難所マニュアルの大切さと活用方法が勉強になりました
- ・私が住んでいる地区の状況をもう一度確認したいと思った。講座を聞いた自分の今までの考えが甘いなと感じました
- ・第1回から参加をしていないので流れが解りにくかった
- ・避難所の内容がわかったので今後の活動に活かしたい

- ④ 資料 宿題シート「あなたの地域の防災資源を書きだそう！」

宿題シート あなたの地域の防災資源を書きだそう！

お名前	お住まいの地域
地域の避難所 ①お住まいの地域の指定避難所 → （地震時と水害時で違えば両方とも） ②それ以外の近隣の公的避難施設 →	
地域の防災資源 （ハード＝建物・事業所や、ソフト＝人・組織など、なんでも思いつく限り）	

男女共同参画視点での防災講座〔事例紹介〕

⑤ 会場の様子（写真）



第3回(8/24) 「地域に活かす避難所ルール② ～誰もが安全・安心な避難所とは?～」

内容:前回までの内容を踏まえ、男女共同参画の視点での避難所開設の具体的な方法のハード面(施設活用方法など)について、三重県総合文化センターを想定したワークショップを実施。施設活用に特化したアイデアをグループで意見交換しながら整理、大型マップにまとめた。

後半は、貼りだされた各グループのマップを全員が見ながら「いいね!」と思う点にシールを貼って評価し合い、講師からも感想などが述べられた。最後に、災害時の「要援護者」や「多様性配慮」について講義が行われた。

男女共同参画視点での防災講座〔事例紹介〕

① スケジュール

13:30～ 地域の防災資源を考えてみよう！(30分)

→会場で着席された方から、宿題をもとに、付箋1枚につき、資源を一つ書き出して下さい。
他の方は、まだ書かれていない資源について書き出します。お互い声をかけあって、重複の項目を避けながら、できるだけたくさん地域の防災資源を書き出して下さい。

14:00～ そうぶんが避難所になったら？〔施設編〕(70分)

→はじめは、マニュアルは伏せておいて下さい。
まず前回の施設見学の記録も見ながら、大型マップに理想の避難所のあり方を、施設の利用方法の面から書き込みます。
途中で、施設職員から、前回の質問事項等への回答があります。
→時間が余った班は、小学校の間取り図を使って、同様の作業をしてみましょう。
(学校の間取り図は、そうぶんの作業が終わってから、事務局に受け取りにいきます)

15:10～ 休憩(10分) (この間に、記入済みの大型マップを貼りだします)

15:20～ お互いのマップを見て評価しよう！(30分)

15:50～ ミニ講義:災害時要援護者支援と多様性配慮(35分)

16:25～ 次回の進め方・アンケート記入(5分)

16:30 終了

② 参加者数

参加者数／40名 男性参加率／62.5%

③ アンケート結果

回答数／37名(回収率 92.5%)

満足度／77.8%(4段階評価の第1位集計割合／第2位まで:97.2%)

意見抜粋

- ・勉強になりました ・気づきが多かった。時間が足りなくて残念
- ・各班のパネル発表がよかった。(マイク発表でなく)青シール評価がよかった
- ・他のグループがまとめた資料を見てよかったです。固定観念をもっているとは思っていましたがいろいろな視点があることに気づきました
- ・班の方全員が研究熱心で恐れ入りました。自分も今まで以上に努力していきたいと思いました
- ・障がい者、妊産婦、乳幼児、子ども等のことで詳しく説明をしていただいたことが参考になった
- ・県の大きな避難施設での訓練で様々な考え、知恵、事前準備が必要なのがよくわかった
- ・今回のワークのゴール、目標がよく見えなかった ・実体験がないので作業がしにくかった
- ・本日で3回目ですが「総文」を避難所にするというテーマではあまりにも大きすぎ現実的でないような気がしてきました
- ・時間が足りなかったのでは。または2回にわけてもよい内容だったかも

男女共同参画視点での防災講座〔事例紹介〕

⑤ 会場の様子（写真）



第4回(9/7) 「地域に活かす避難所ルール③ ～地域で活用できる避難所マニュアル～」

内容:前回の「ハード面」に続き、男女共同参画の視点での避難所運営の具体的な方法のソフト面(マニュアル策定・運用)についての講義とワークを実施。講師より現在の三重県や津市のマニュアルについてその特徴や課題などの話や他地域の事例紹介があった後、それらを参考にグループで話し合いながら「理想的なマニュアル」づくりのワークを行った。

男女共同参画視点での防災講座〔事例紹介〕

最後に、講座を通して得られた知識やアイデアなどを留める事なく地域で活用していけるよう、講師よりまとめの講義とメッセージがあり、終了となった。

① スケジュール

- 13:30～ 本日の説明とグループ内での自己紹介(5分)
- 13:35～ どうしても外せない！こうしたい！！避難所マニュアルへのこだわりを出し合おう(15分)
- 13:50～ 各地の避難所運営マニュアルなどを見てみよう それぞれの利点と役立ち度の違い (30分)
- 14:20～ 休憩(10分)
- 14:30～ 避難所運営体制を中心に配慮ポイントを話し合おう(20分)
- 14:50～ こんなマニュアルが欲しかった！
イメージしてみよう、使える☆男女共同参画・多様性配慮型の避難所運営マニュアル(50分)
- 15:40～ 今後の地域実践にむけて(作業の成果の共有を含む)(40分)
- 16:20～ 質疑(10分)
- 16:30 終了

② 参加者数

参加者数／42名 男性参加率／57.1%

③ アンケート結果

回答数／40名(回収率 95.2%)

満足度／89.2%(4段階評価の第1位集計割合／第2位まで:94.6%)

意見抜粋

- ・マニュアル作り作業を通して実際に想定しながら考えるのでよい経験になりました
- ・避難所運営する場合、地域での女性リーダー育成が必要だと思った
- ・今日の講座に対しては時間がほしいです。もっと各班でのディスカッションの時間がほしい
- ・課題に対するワークの時間が少ない(課題が大きい。課題の説明がよく理解できなかった)
- ・1～3回目の講座で学んだことを活かしてマニュアル作成作業ができたと思う
- ・非常に勉強になった。欲を言えばあと30分時間がほしかった
- ・マニュアル作り以前に「話し合いをもつ」ことが大切だと感じた。今回の講座を活かして地域で話し合いの場をもてるよう働きかけてみます
- ・地域連携の重要性を理解
- ・講座を受けて、避難所別の運営マニュアルをイメージしながら案を作っていきたいと考えようになった
- ・自分の地域でマニュアルづくりについて考えたい
- ・なによりも防災に対する意識が高まったことがとてもよかったです。今後、この研修で学んだことを地域や勤務先で発信していきたいと思えます

